



# WEEKLY REPORT

## 高山中央ロータリークラブ

2022～2023 年度 高山中央 RC 会長テーマ

イマジン ⇒ アクション ～止まった時間を動かそう！～



◆会長 中田 学 ◆幹事 二木 公太郎 ◆会報委員長 西 美紀 ◆会報担当 大保木 正博

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1314 回	56 名	56 名	45 名	—	80.36%
前々回 1312 回	54 名	54 名	38 名	2 名	74.07%

### ●点 鐘

### ●ロータリーソング

### ●四つのテスト

### ●ビジター・ゲストの紹介

高山市長 田中 明 様

### ●会長の時間

会長 中田 学

こんにちは！ 会長の時間です。

もう2月も終わりですが、今月のロータリーは、「平和と紛争予防・紛争解決」月間となっています。

「平和と紛争予防・紛争解決」ということで、ロータリーのこの平和に対するアプローチは、まずは、「寄付をする」ことによって、地域の貧困などの環境を改善し、また、「平和は人から」ということで、人材の育成をしていくことで、紛争を防いでいく、解決する、そういうこととなります。

ロシアがウクライナ侵攻して約一年となりました。ニュースではこの一年の振り返りや今後の展望について、さまざま報道されています。世界の人・物・情報の交流が、どんどん進んで、お互いに足りないところを上手く補完し合って、より良い世界にしていこうという、この時代になってもなお、過去の栄光や郷愁にすぎり、国家の領土拡張を理由に、戦争を仕掛け、普通の人々が積み上げてきたささやかな幸せが、こんなに簡単に破壊されていく。今でも本当に信じられません。この紛争というか、戦争の直接の解決は、ロータリーの手に負えるものではないかもしれませんが、ロータリー財団は、ウクライナ支援として、1,500 万ドル以上の寄付を集め、ウクライナの人々に水、食料、シェルター、医薬品、衣料などの様々な必需品を提供する支援をしています。また、欧米を中心に、世界各国のロータリークラブがネットワークを使って、様々な支援を今も続けています。国際ロータリーのホームページには、活動報告がありますので、ロータリーができること、私たちができることを考えるきっかけに、チェックされてみてください。

さて、本日の例会は、国際奉仕委員会、高原委員長のご担当ということで、大変お忙しい中、高山市長 田中 明様にお越しいただき、卓話をいただきます。先月の例会で、平塚湘南ロータリークラブとの姉妹ロータリーの交流事業についてお話の中で、20年前に、私が理事長の時 J C の国際交流事業として、二木幹事、高原委員長も同行して、姉妹 J C を探しにデンバーを訪問しましたが、その際、田中市長にアテンドしていただき、私たちが大変お世話になった事は、いまでも忘れられない良い思い出です。本日は、高山市の国際交流について、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、高山市内、コロナ、随分落ち着きを見せてきました。先月の節分例会で、しっかり厄払いは済ませておりますが、変わらず日々生活の中で、一層体調管理にお努めいただくことをお願いして会長の時間とします。ありがとうございました。

### ●幹事報告 幹事 二木 公太郎

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

- ・2024-25 年度夏季派遣学生募集のご案内
- ・ロータリー国際大会 in メルボルン ガバナーナイトのご案内
- ・トルコ地震災害義援金協力をお願い
- ・1 月クラブ増強報告書
- ・メルボルン国際大会のご案内と登録のお願い
- ・第 21 回ロータリー全国囲碁大会のご案内  
日時：5 月 20 日（土）10：00～16：00  
会場：市ヶ谷の日本棋院本院 1 階対局室  
登録料：7000 円
- ・2023 年地区研修協議会開催のご案内  
日時：4 月 15 日（土）13：00～16：55  
会場：バロー文化ホール  
登録料：10,000 円

○濃飛グループ次期ガバナー補佐より

- ・濃飛グループ I M
- ・6 R C 合同ガバナー公式訪問開催について  
日時：10 月 14 日（土）  
場所：シティホテル美濃加茂

○ロータリー米山記念奨学会より  
・ハイライトよねやま 275

○ロータリー友事務所より  
・2023-24 年度版 ロータリー手帳お買い上げ  
のお願い

○多治見リバーサイドロータリークラブより  
・第 37 回インターアクト飛騨・中農・東農グル  
ープ

地区協議会開催日について  
2023 年 12 月 10 日（日）

○高山ロータリークラブより  
・例会変更のお知らせ  
3 月 2 日（木）⇒3 月 19 日（日）  
ポリオ募金例会の為  
3 月 23 日（木）休会

<高山市教育委員会より>  
・総会中止のお知らせ

<飛騨教育事務所より>  
・令和 5 年度版  
「あったかい言葉かけ運動カレンダー」の送付

<飛騨高山国際協会より>  
・シビウ国際演劇祭ボランティアスタッフ  
募集について

<会報>  
・高山 R C ・名張中央 R C ・下呂 R C

●国際奉仕委員会 委員長 高原 龍士



今年度、国際奉仕委員会委員長を仰せつかっており  
ます高原です。

今回の例会は、国際奉仕ということで長年にわた  
って海外戦略に携わっておられました、現高山市長の  
田中明様に大変お忙しい中お時間を取っていただ  
きお話を頂く運びとなりました。田中市長、本日は  
宜しくお願ひ致します。

田中市長のこれまでの経験から得た知識などから

今日はお話しただけだと思います。

是非、ロータリーメンバーの方々にも国際奉仕への  
更なるご理解と、ご支援を頂ければ幸いです。短い  
時間ですが、本日は宜しくお願ひ致します。

●高山市長 田中 明 様



皆さん、こんにちは。高山市長の田中です。

冒頭の中田会長のお話にありましたように、私は  
中田会長が青年会議所の理事長をしてみえた時に、  
初めて青年会議所がデンバーに行かれたのですが、  
その時一緒に行かせていただいたご縁があります。

また、高原委員長さんもその時一緒にデンバーに  
行かれたのですが、高熱を出されて病院を探して面  
倒を見させていただきました。それ以来、多分高原  
さんは私には頭が上がらんだろうと思っています。

また、当クラブには西倉副市長も所属していらっ  
しゃいますし、今まで一緒に現場に行かせていただ  
いた方や、市長になってから色々な取り組みを一緒  
にさせていただいている方もおみえになり何かと  
ご縁を感じております。

いろいろお話ししたいことはありますが、時間も  
限られておりますので本当に国際的なことだけに  
エッセンスを絞ってお話をさせていただきます。

まずは高山市が今日の国際観光都市となるまで  
の経緯についてお話をさせていただきます。お配り  
した資料の中で「高山の姉妹・友好都市等との交流」  
ということで、地図を 1 つ載せています。

アメリカコロラド州のデンバー市、中国雲南省の  
麗江市、ルーマニアのシビウ市、ペルーのウルバン  
バ群、マチュピチュのあるところ。あと、中国  
雲南省の昆明市とこれらが姉妹・友好都市です。

その他にフランスのコルマル、ベトナムのフエ、  
ラオスのルアンパバーンといったところとは交流  
が深まるような提携を結んでいるといった関係に  
なっています。

高山市とデンバー市が姉妹都市提携を結んだの  
は 1960 年です。

おそらくこの中には、私もそうですけどもまだ生  
まれていない方がいらっしゃると思います。日本全  
国で 11 番目です。岐阜県下では初めてのことでし  
た。本当に山のなかの小さな町が海外の都市と姉妹  
都市提携を結ぶなどということは、よほど当時の携  
わっておられた方々の英断と尽力があつてのこと

だと思っております。その姉妹都市提携を結んだことがきっかけとなって高山は国際都市としての道に歩み出したということを実感しております。

私は高山市役所に入って 16 年ぐらはずっと国際交流を担当しておりましたが、高山市は他の都市とは少し違うなということを感じておりました。

今日の資料の「高山市の外国人誘客取組み経緯」をご覧ください。

1986 年には国際観光モデル地区に国から指定になりまして、その年に国際観光都市宣言をしています。何年前ですかという話です。1986 年と言いますと今から 30 数年前になります。その時にもうすでに国際観光都市宣言というのがされているのですね。ちょうどこの頃はまだ、高山に来る外国人観光客の方というのは約 1 万 7000 人くらいで、ほとんどが欧米国、(米国、ヨーロッパ) の方々ばかりでした。それからずっとここに書いてありますように活動をしてきているわけでございますけれども、その次のページをご覧ください。

これは役所の同僚が見つめてきたものですが、1937 年には高山市はもうこういった英語のパンフレットを作っていたのです。戦前の話です、戦前からこういうものを作って国際都市の淵源となる世界を生み出そうとしていたわけですね。

私が一言申し上げたいのは、高山というところは独特な DNA を土地柄あるいは人が持ってらっしゃるということです。

わざわざ高山へ来ていただいたことに対して、住民の方々がその方々に施しをします。どんな施しかわかりませんが、宿だったら宿をし、あるいは道すがらお会いしたり、その施しをしていただいたことに対してお客様は喜ばれます。その喜ばれる姿を見て喜ぶのは、私はこの高山の方々の DNA だと思っています。

もう結論を申し上げますけれども、人と交流するというのは結構エネルギーがいります。ましてや海外の方々と交流するということは、宗教も違えば、言語も違い、価値観も違う方々と交流をするということになります。

それをずっと高山の方々はやってこられた、面倒であることを超えてですね。ずっとやってこられたということが、まず 1 つあります。

私が役所で海外戦略を担当してる時に、「なんでそんなに高山は国際的なんですか。なぜそんなにたくさんの方が海外から来るんですか」と聞かれたことがあります。

資料の次のページにいつていただきたいと思います。

今はコロナで 3 年前に時計がパタッと止まったような感じがありますが、特にここで申し上げたいのは、上の段の最前線でお客様と接する市民の底力です。いろんなところで、「高山市みたいな都市に

なりたい」というお言葉をお聞きしており、私も何回もいろんなところでお話をさせていただく機会があるのですが、高い国際性、ここが圧倒的に他の地域と違うと思います。

言語、文化的背景、宗教観が違う外国人観光客を日常生活の中に受け入れるには、異文化に対する高い理解が必要です。それが高山はできているということです。

今日は時間がないので、今までどういった取り組みをしてきたかという細かいお話は申し上げられないのですが、たまたま海外とか国際という頭文字をつけて、自分とは異なる文化の方々とも接する、そうした取り組みをしていますけれども、翻せば同じ日本人同士であっても同じような努力が必要かな、ということをおもっています。要するに、自らと異なる方々と接するその仕方を知ってらっしゃるということです。ただ、どうしても保守的という地域・土地柄があるので、なかなかそれを極端に自分を変えていくということには繋がらないのかもしれないませんが、少なくとも違いのある方と接することについてはさほど違和感をお持ちではないのではないかと感じております。

それが私は冒頭に申し上げました、1960 年にデンバー市と姉妹都市提携を結んで以来、ずっと高山の国際的な柱になっているのかな、という気はいたします。

繰り返しになりますが、今はコロナで時計が止まってしまいましたけれども、この前までは本当に海外の方と接する機会が多かった。その最前線で接する方以外にも、小中学生であるとか、ご高齢の方であっても、そういった外国からのお客様に本当に自然に接しられ、道に迷ってみえたら道案内するとか、あるいは子どもたちは、もうニコニコしながらハローっていう風に答えるとか、そういった違和感のない接し方をしてらっしゃるのが、私は高山の宝だと思っています。その市民の皆さんの自然な礎があってこそ、これからもっと高山市が国際的なまちになるのかなと感じております。

もう一度申し上げます。高山と他の地域が圧倒的に異なるのは、まず伝統的な文化、伝統的な食べ物、伝統工芸であるとか、そういったものをしっかり守ってこられた上で、それを見に来ていただく方、わざわざ来ていただく方に感謝の意味を込めて施しをしていく。その施しをしたことを喜んでいただいたことを更に自ら喜んで次に繋げていく。そういう DNA が高山人にはあるからこそ、おそらく今後も多くの国内外を問わず、来高される方を迎え入れる土壌があると感じています。これは私が市長になる前から、通算で言うともう 20 年以上は国際的な分野に立ちあっている中で感じたことです。

海外の方と付き合うということは、自らを説明しなければいけないです。日本人だったら同じような



価値観を共有しているから説明する必要がないことも、海外の方々には説明しなければならないのですね。食べているもの、飲んでいるもの、持っているもの、生活習慣、説明をしなければ理解していただけないのですね。それを、高山の方は日常的にやる場面が多いから自然にそれができている、それはどういうことかということ、バックグラウンドに自ら入っているということです。

究極的にはそれは今まで積み重ねてきた伝統であるとか、文化であるとか、そういったものをさらに高める1つのステップになるという風に考えておりました、おそらくこれからはそれが試されるのだらうと思います。

今後いろいろな部分でご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

本日はご清聴ありがとうございました。

### < 2月のお祝い >

#### < 会員誕生日 >

葛谷 嘉久	S 4 6 年	2 月 4 日
西 美紀	S 3 3 年	2 月 1 1 日

#### < パートナー誕生日 >

西 美紀	隆	2 月 2 日
渡辺 甚一	美子	2 月 8 日
中田 一男	さち子	2 月 9 日
伊藤 正隆	順子	2 月 1 8 日
坂之上 健一	孝子	2 月 2 4 日

#### < 結婚記念日 >

堀口 裕之	H 4 年	2 月 8 日
葛谷 嘉久	H 1 3 年	2 月 1 5 日
水口 邦博	H 2 3 年	2 月 2 0 日
伊藤 正隆	S 5 6 年	2 月 2 5 日

### < ニコニコ BOX >

高山市市長 田中明様のご来訪を心より歓迎致します。  
理事役員一同

角竹君、田中君、入会おめでとうございます。必ずお酒を注ぎに来るようお願いします。  
周 信夫

先日、3人目の孫が無事に生まれました。はじめてのかわいい女の子でした。感謝を込めてニコニコへ。また、平塚湘南RC訪問の際のゴルフコンペにてベスグロ賞他沢山の賞品を頂きましたので併せてニコニコへ。  
岩本 正樹

先日は夫の誕生日に素敵なお花を頂きありがとうございました。  
西 美紀

約3カ月お休みを頂きゆっくりさせて頂きました。ロータリーの事を忘れてしまう位でした。体調の事もありあの方と一緒にたばこを止め、お酒も控えて行きますのでよろしくお願い致します。  
岩垣津 亘

皆様には、ご迷惑をお掛けしましたが、無事に宴会会場の改装が出来ました。今後とも例会ご利用をよろしくお願い致します。  
井ノ下 雄志

雫宮祭のポスターを置いてます。お店・会社等に貼って頂ける方が見えたら何枚での持って行って下さい。是非、ご協力の程よろしくお願い致します。  
都竹 太志

